

# 『北部九州豪雨水害を追求する』

写真撮影：アジア航測（株）

日時

平成29年8月19日(土) 13:00~16:50 (受付12:30~ 無料)

場所

久留米市新合川1-1-3 筑後川防災施設「くるめウス」

『水利土木遺産を探求する』を研究テーマとしてすでに案内申し上げていましたが、今回、歴史的な豪雨災害を受けたため、テーマを変更させていただきます。大変申し訳ございません。被災された方には、謹んでお見舞い申し上げます。

## 基調講演

「今夏2017・7の北部九州豪雨水害の特徴」

九州大学大学院 工学研究院 教授 島谷 幸宏

## 研究テーマ

筑後川 「筑後川水害の特性について」  
国土交通省筑後川河川事務所 所長 船橋昇治

矢部川 「矢部川(2012・7)水害復旧と河川景観」  
八女市文化財専門委員会 会長 馬場紘一

嘉瀬川 「嘉瀬川(有明海を含む)の風水害を考える」  
佐賀大学大学院工学系研究科 教授 大串浩一郎

未定(2012・7うきは市の豪雨災害復興を振り返って)  
うきは市長 高木典雄

パネルディスカッション『豪雨水害に我々はどう対処するか』

コーディネーター 九州大学大学院工学研究院 助教 林 博徳

主催、問合せ：筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会 090-7297-4073 (事務局)

本研究会は、(一社)北部九州河川利用協会の支援を得て実施しています